

### Aグループ

No.	項目	数	内 容
1	福祉センターまでの巡回バス路線が不十分	2	福祉センターまでの巡回バスの路線が不十分。
			移動手段の確保ができない。
2	地域の交流を深める工夫をする	2	地域の交流を深める工夫をする。
			孤立してしまう人が多いのではないかと。
3	近隣に無関心・自治会加入者の低下	2	自治会への加入者が低下。自治会の活動が煩わしいと感じる人が多い。
			近隣に無関心な人が多い。
4	交流の場がない	2	交流の場が少ない。
			近年、近隣との関係が希薄になり交流が減ってきている。
5	ボランティア不足	1	福祉ボランティアが不足している。
6	交通が不便	1	早急に地域内交通を発足してほしい。
7	高齢者の足の確保が厳しい	2	高齢者の足の確保が厳しい。
			高齢者の移動手段をどう確保するかが問題である。

### Bグループ

No.	項目	数	内 容
1	一人暮らし、高齢者への支援が乏しい	1	福祉、ボランティア活動を普及・育成する機会が少ない。
2	地域の相互扶助が希薄化している	3	20～40年前の造成団地が多く、高齢化が心配。
			高齢者対策の一元管理制度が無い。(市で一元管理する)
			隣近所の交流が薄れている。(自治会加入推進)
3	高齢者が入所できる施設が不足している	1	高齢者の1人暮らしを支援したり、見守る機関や人がいない。
4	高齢者の日常生活の交通手段が不便	1	独居高齢者に関する交通手段・日常生活支援・防災対策がはっきりしていないために不安である。

### Cグループ

No.	項目	数	内 容
1	高齢者の増加に対応する施設の不足	2	施設の受け入れ人数の増員を検討すべきである。
			医療施設が不足している。
2	勤労家族に対する援助施設の不足	5	施設に入るお金がない。
			自分の家で生活続ける手段を知らない。
			介護施設が不足している。
			核家族が進み、1人暮らしが多い。
			福祉・保育園等の受け入れ人数が少ないので、増員を検討すべきである。
3	独居老人の数が多くなっている	1	高齢化が進んでいる。
4	人、特に家族・高齢者を思いやる教育が不足している	5	高齢者対策について、家族の協力が希薄になっている。
			思いやりのある家庭教育が不足している。
			子供が親の世話をしない。
			少子化が進んでいる。
			高齢者が買い物に出られない時は、地域の人達の協力が必要。
5	自治体の加入率が下がり地域の輪がくずれている	2	自治会の加入率が低い。
			老人会がない。

## 課題抽出 グループ協議結果【健康】

### Aグループ

No.	項目	数	内 容
1	体育施設が利用しにくい	1	金銭面や手続き方法等に問題があり、体育施設が利用しにくい。
2	楽しめるスポーツが少ない	1	気軽に楽しめるスポーツが少ない。
3	気軽に参加できるスポーツが少ない	1	気軽に参加できるスポーツが少ない。
4	健康のための料理教室が少ない	1	塩分・糖분을控える料理教室が少ない。

### Bグループ

No.	項目	数	内 容
1	塩分の摂りすぎ、食育に関する意識が低い(検診率が低い)	1	塩分摂取量が多いので、高血圧から他の病気になる。
2	健康維持をする地区、各種スポーツ大会への参加率の低下	1	「スポーツのまち宣言」以来の意識が薄くなりつつある。ハートフル、体育祭への参加が少ない。
3	地域の地産地消の展開がよく見えていない	2	地産食材の販路開拓。(直売所) 地産食材のPRが地域内購入先の情報公開が少ない。

### Cグループ

No.	項目	数	内 容
1	スポーツ施設は沢山あるが、有効に活用出来ていない	3	「スポーツのまち」であるが、運動公園の利用者が少ない。 健康のためにもラジオ体操等を地域全体で参加することが必要である。 スポーツ施設は完備されているが地元に対して配慮不足である。
2	河内総合運動公園施設の利用法が課題である	1	河内総合運動公園の陸上競技場があまり利用されていない。一般に貸し出す貸出条件の緩和を検討すべきである。
4	健康診断の受診率が低い	2	健康診断もなかなか予約が取れないために、受ける人も少ない。 特定健康診査を受けにくい。
5	食生活において、塩分・糖分の摂りすぎでは？	3	正しい食生活のための料理教室が少ない。 塩分を摂りすぎる。 糖尿病の恐ろしさを知らない。

## 課題抽出 グループ協議結果 【安全・安心】

### Aグループ

No.	項目	数	内 容
1	災害に対する危機感がない	1	常に危機感を持つことが大事である。
2	主に自転車の交通マナーが守られていない	2	主に自転車の交通マナーが守られていない。 無灯火等の交通違反を無くしたい。

### Bグループ

No.	項目	数	内 容
1	災害・震災に対する意識が低い	1	災害・震災後の危機が薄れ、防災に対する意識が低下している。
2	防犯に対する意識が低い	1	警察署による防犯の呼びかけはあるが、防犯意識があるのかわからない。
3	交通ルールマナーの低下	1	耳にイヤホンや携帯電話を片手に自転車走行をする姿が見受けられる。

### Cグループ

No.	項目	数	内 容
1	自転車の交通マナーの改善	1	自転車の交通マナー違反が多い。
2	道路の安全施設が不完全である	2	通りの多い道路は、横断歩道が必要な所が多い。 一部の道路に危険箇所がある。
3	高齢者に対する思いやりのある交通道徳が少ない	2	老人会や自治会からの指導を徹底することが今後の課題だ。
4	地域消防団に対する理解者が不足している	2	消防団についての理解が不十分で協力心がない。 消防団員が少ない。